

モリコロパークの隣で考えるアントレプレナーシップ教育

Report

Day 1

2024年10月19日(土) 9:30~16:30

夢の世界から題材を見つけ考える

会場 愛・地球博記念公園 地球市民交流センター内 多目的室4

Program Summary

STEP
1

愛・地球博記念館の見学

館内スタッフの説明を受けながら見学してもらった。万博期間中、会場内を自動清掃していた「掃除ロボット」、トランペットを吹くパートナーロボット、ロボットアテンダント「WAKAMARU」、インフォメーション係として働いた「アクトロイド」、現在も動作している「からくり人形」等、**2005年の時点で活躍していたロボットやAIの技術・性能**に触れ、参加者からは感嘆の声が上がっていた。

STEP
2

「愛・地球博」記録映像を視聴

記録映像は「愛・地球博」開催時に活躍したロボットの技術・性能に加え、関わった人々が奮闘した軌跡も紹介されていた。当時の英知を結集して開発され、案内役や司会をこなした「アクトロイド」が、それでも単体では機能せず人間のサポートが必要だったこと。夜のパトロール、昼の会場案内に活躍した「ガードロボi」や自動清掃ロボ「スウィッピー」は現在のロボットと比べると機能も乏しくサイズが大きいことなどの説明を受け、参加者は**万博以降、20年間の技術の進化を実感**しているようだった。

STEP
3

園内を散策しAI・ロボット関連の素材を収集

6つのグループに分かれて公園内を自由に散策。各グループには愛知県立大学の生徒1名ずつに同行してもらい、サポートしてもらった。愛・地球博記念館や記録映像で学んだ内容をヒントに、AIやロボット関連の素材を収集してもらいながら、社会をより便利に、より良くするためのアイデア、ビジネスの芽になりそうな素材を探してもらった。

STEP
4

グループディスカッションと発表

公園内で見つけたAIやロボットの素材、ロボットやAIを使うことのメリットとデメリット、共生していくために今後どうすべきかについてグループごとに話し合ってもらい、集約した意見を発表してもらった。「人が仕事を奪われる」というデメリットの声が多かったが、それは本質的なデメリットではなく「**仕事を奪うために開発されているのではない**ことを忘れないでほしい」という講師の指摘に、多くの参加者がはっとしたように頷いていた。



オリエンテーション

愛・地球博記念館の見学

「愛・地球博」開催期間中に活躍していたロボット・AIを学ぶ。

愛・地球博記録映像を視聴

来場者対応ロボット、警備ロボット、清掃ロボット等を学ぶ。

愛・地球博記念公園内を散策

グループごとに園内を散策し、ロボット、AI関連の素材を収集。

グループディスカッション

①園内で見つけたAI・ロボットの素材
②ロボット、AIのメリットとデメリット
③今後、ロボット、AIと共生するためにどうすべきか？

プレゼンテーション

話し合った内容をグループごとに発表。

講師からの講評